

言葉が紡ぎだされるとき 声とテキストの間で

日時：2023年12月23日(土) 13:30～17:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館G-Lab
ハイブリッド開催 @Zoom Meeting

<開会の辞 趣旨説明>

岩波 敦子 氏 (慶應義塾大学教授 研究代表者)

<第一部>

大黒 俊二 氏 (大阪市立大学名誉教授)

「往還する声とテキストー中世イタリアの説教記録から」

山内 志朗 氏 (慶應義塾大学名誉教授)

「声と風と聖霊ー中世における聖霊論の一側面」

<第二部>

鎌田 由美子 氏 (慶應義塾大学准教授)

「遍在する神の声ーイスラーム美術・建築の装飾をめぐって」

佐藤 弘夫 氏 (東北大学教授)

「異界から響く声ー中世日本における偽書生成のメカニズム」

<全体での意見交換・質疑応答>

コメンテーター 松田 隆美 氏 (慶應義塾大学名誉教授)

参加費：無料

事前申込制：<http://www.icl.keio.ac.jp/news/2023/10/1223.html>

参加を希望される方は、研究所ホームページもしくはQRコードよりお申込ください
オンライン参加をご希望の方には、事務局より別途オンライン開催情報をお送りします



主催：慶應義塾大学言語文化研究所

公募研究プロジェクト「精神史における「声」と「テキスト」の創造的営為」(研究代表者：岩波敦子)
お問合せ先：慶應義塾大学言語文化研究所 mail: genbu@icl.keio.ac.jp